

ご報告：ナウル共和国 国家非常サービス庁救命消防部 消防車寄贈事業

2018年度海外援助事業として、日本の自治体および企業より無償譲渡いただいた消防車両を寄贈しました。

2020年1月のメンテナンス研修の後、2月18日にナウルを兼轄する在フィジー日本国大使館出席のもと、引渡式が行われましたので、ご報告いたします。

<現地写真>

1	<p><事前調査></p> <p>2019年6月、寄贈実施に先立ち現地事情を調査</p> <p>城南モーターサービス(株)麻生洋樹代表取締役社長(左端)に現場を訪問いただき、空港離発着に備えた消防署であり、維持管理を行うだけの体制が整っていることを確認した。</p>	
2	<p>市内の整備工場を視察</p>	

<p>3</p>	<p><研修></p> <p>2020 年 1 月、寄贈車両の維持管理について研修を実施</p> <p>消防士たちへ日常点検要領を説明する城南モーターサービス株式会社塩澤嵩氏（左端）</p> <p>塩澤氏は日々の点検を通じて些細な変化に気が付くことの重要性を強調した。</p>	
<p>4</p>	<p><研修></p> <p>整備点検要領を説明する塩澤氏（中央）</p> <p>消防署には知識と経験の豊富なメカニックが1名在籍しており、車両各部の点検や部品交換の方法などを通じ、留意点を共有した。</p>	
<p>5</p>	<p><研修></p> <p>資機材の使い方を説明する塩澤氏（右端）</p> <p>ナウル共和国へは消防車両に加え、空気呼吸器や救助用のエンジンカッターと発電機も併せて寄贈した。</p>	

<p>6</p>	<p><研修></p> <p>研修を終えたナウル共和国救命消防部の隊員たち</p>	
<p>7</p>	<p><引渡式></p> <p>2020 年 2 月 18 日、鍵の引き渡しを行う在フィジー日本大使館 羽田貢由参事官 (中央)</p> <p>引き渡しを祝い握手を交わすのはナウル共和国ライノル・ローウェン・エニミア大統領 (左) と同国救命消防部セルソ・ダゲアゴ消防長</p>	
<p>8</p>	<p><引渡式></p> <p>消防隊によるデモンストレーション</p> <p>オーストラリア等から技術指導を定期的に受けており、オペレーションはスムーズに披露された。</p>	

<p>9</p>	<p><寄贈車両></p> <p>福岡市供出の水槽付ポンプ車 (4000L)</p> <p>寄贈前、予め艤装メーカーで故障が想定される電装機器を取り外し、シンプルで使いやすい車両に改造して寄贈した。</p>	
<p>10</p>	<p><寄贈車両></p> <p>改造水槽車 (7000L)</p> <p>関西エアポート (株) 供出の照明車シャーシへ神奈川県伊勢原市供出の水槽を取り付けて寄贈した。</p>	
<p>11</p>	<p><現地写真></p> <p>ナウルの街並み</p> <p>島は一本道で20分あれば周回できる。</p> <p>木造やレンガ造りの家屋が多く、日本から寄贈を受けるまでは消防署からの出動に支障をきたしていた。</p>	